

教員氏名	成瀬 正春	職位	教授
最終学歴	岐阜市立岐阜薬科大学大学院薬学研究科 修士課程修了		
学位	医学博士(名古屋市立大学) 薬学修士(岐阜薬科大学)		
役職	学 長	所属学会	日本繊維製品消費科学会、日本家政学会
担当科目	「被服衛生学」「被服管理学」		
研究分野	生活科学、健康・スポーツ科学、被服衛生学		
現在の研究テーマ	衣服の快適性に関する研究、衣服による皮膚障害の研究		
教育方法の実践	<ol style="list-style-type: none"> 1. 被服衛生学の講義においては、衣服と生体との係わりに関する知識を習得させるために履修学生自身の体験を紹介させたり、ビデオ画像を提示したり、実物を見ながら学習できる授業環境を作ったりして、学生自身の生活環境における衣服の重要性を理解させている。 2. 授業中に受講学生が発言できる状況作りに努めている。コメントシートに授業に関する質問・意見を記載してもらい、翌週に回答する方法で、履修学生の修学度の把握に努めている。 		
作成した教科書・教材	「被服衛生学」の授業で使用する教材として、『アパレル生理衛生論』（日本衣料管理協会発行）および『アパレルと健康』（井上書院発行）を作成した。		
教育研究業績	<ol style="list-style-type: none"> 1. (共著)「ウール肌着地の繰り返し洗濯による物性変化と改良について」『繊維製品消費科学 第54巻第11号』（2013）1004-1009頁 2. (共著)「衣服の百科事典」丸善出版株式会社（2015）372-373頁 3. (単著)「衣服着用による皮膚障害の発生と対策」『繊維機械学会誌 第69巻第11号』（2015）579-584頁 4. (共著)「被服学事典」朝倉書店（2016）368-369, 371-372頁 5. (共著)「食器洗浄作業時における既存厨房服着用が身体に与える影響」『繊維製品消費科学 第58巻第1号』（2017）74-79頁 6. (学会発表)「着装形態別にみた靴内気候の快適性評価方法の提案」日本繊維製品消費科学会 2013年年次大会（椋山女学園大学：2013.6.22-23） 7. (学会発表)「既存厨房服とトレーナーにおける洗浄作業時の作業効率」日本繊維製品消費科学会 2014年年次大会（京都工芸繊維大学：2014.6.28-29） 8. (学会発表)「既存厨房服と防水着における洗浄作業時のストレスの測定」日本繊維製品消費科学会 2015年年次大会（信州大学：2015.6.27-28） 		
受賞歴	なし		
社会的活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本衣料管理協会常任委員会副委員長 2. 日本衣料管理協会監事 3. 日本繊維製品消費科学会東海支部幹事 4. 日本 TES 会中部支部幹事 		
競争的資金の獲得	なし		
実務の経験を有する者についての特記事項	なし		